

### 第 98 回 問 333

病院内の感染予防に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

- 1 米国疾病管理予防センターの普遍的予防策（ユニバーサルプレコーション）は、医療従事者の保護を中心とした考えである。
- 2 標準予防策（スタンダードプレコーション）は、感染症を有する患者に対する対策である。
- 3 標準予防策では、手袋、マスク、ガウン等の着用基準を定めている。
- 4 感染経路別予防策とは、院内感染した患者の動線を調査して感染防止策を立てる方法である。
- 5 入院する前から既に感染しており、入院後に発症した感染症も院内感染症とみなされる。

#### 【解説】

- 1 正：米国疾病管理予防センター（CDC）の普遍的予防策（ユニバーサルプレコーション）は、医療従事者の保護を中心とした考え方であり、全ての患者の血液、体液、分泌物、排泄物は、感染の危険性があるとして対応する感染予防策である。
- 2 誤：標準予防策（スタンダードプレコーション）は、すべての患者に実施する感染予防策である。
- 3 正：標準予防策では、患者の血液などの湿性生体物質に触れる時、手袋、マスク、ガウン等の着用基準を定めている。
- 4 誤：感染経路別予防策とは、病原体の感染経路（接触感染、飛沫感染、空気感染）を遮断することで感染防止策を立てる方法である。
- 5 誤：院内感染とは「病院内において生体内に侵入した微生物により惹起される感染症」と定義されている。よって、入院する前から既に感染し、入院後に発症した感染症は院内感染とはならない。

【解答】 1、3



yakugaku  
lab

<http://yakugakulab.info>